

平成26年度

事業報告（案）

社会福祉法人相楽福祉会

目次

平成26年度 事業報告(案)

相楽福社会全体	1
総務部	4
健康管理部	10
相楽地域障害者生活支援センター	15
相楽作業所	21
相楽デイセンター	28
精華地域活動センター「心」	34
(クリエイティブスペース) ていすと	39
エコ・クリーン相楽	42
サービスセンター相楽	47
グループホーム	
サポートセンター「樹葉」	50

社会福祉法人 相楽福祉会
平成26年度 事業報告（案）

はじめに

今日、社会福祉法人の在り方が問われ、平成27年度の報酬単価も厳しい提示がなされ、法人運営は大きな岐路に立たされている。そんな中、私ども法人は創設者を亡くし、個人の原動力にたよることはできず、組織的な運営がもとめられるようになって2年目を迎えた。新体制の下でこれまでの問題を明確化し、財政の安定化、組織運営の確立、人権に配慮した支援体制の構築等が重要な課題であると全体で確認を行った。今年度は事業の継続のため、重要課題を事業計画にあげ、運営課題に対する改善を具体的にはじめた年となった。

財政面では役職員の整理や業務内容を見直すとともに、支援及び事務職員の配置を適正化することにより、一定の改善を見せた。また、会議の定例実施、細部にわたり事業計画書及び報告書の確実な提出を進めることにより、課題を常に共有し、相互評価することで組織的運営を行う仕組みを作った。

一方、支援の中身においては、人権に配慮した支援を再構築するため、研修や施設ごとでチェックシートを用いた点検を行った。また、会議の中で意識的に支援内容及び支援方法に相互評価を加えてきた。

以下、具体的な計画に対する評価を事業所ごとにまとめた、きらびやかではないが課題と向き合いながら改善してきた1年間の報告である。当たり前のことを当たり前に行うことの重要性を再認識し、今後も改善が遅れている、職員の労働荷重の課題も含め「利用者、家族、職員がともに輝ける法人」を目指し、実直に課題と向かい合っ
ていきたい。

I 運営指針に基づき評価

1. 安心・安全を最優先に考え、設備面の改善及び支援内容を日々見直す。

- ・高齢化が進む作業所において、危険箇所及び老朽化する建物の修繕を当面5年間の計画を立て、年度末よりトイレ、玄関先の点字ブロック改修等を計画実施した。
- ・事業やプログラムに関する計画及び報告を理事長・常務理事まで行い、安全に計画され、実施に問題はなかったかのチェック機能を強化した。また、各事業所で出された安全への留意事項等を所属長会議で共有し、法人全体のものとするよう努めた。

2. 人権に配慮し適切な支援を生み出すため、研修の充実及び相互評価できる風土をつくる。

・職員全体の研修として「虐待について」の研修を行うとともに、運営会議及び所属長会議で「不適切な支援はないか」意識的に確認を行った。

3. 各職員の役割を明確にし、組織的運営を行う。

・平成25年度まで27人いた役職を26年度に13人とし、それぞれの役割と役職を明確化した。しかし依然として、職員の役割が多岐にわたり過重となっている実態があり、今後、職員一人ひとりの役割を明確にしていくための、体制整備が必要であると思われる。

4. 財政の安定化を図る。

・役職の整理、事務の効率化を進めることで、収支差額が2年ぶりにプラスに転じた。しかしながら、老朽化が始まっている建物修繕や変動する施策に対応できる人件費積立金ができておらず、今後の継続的課題である。

II 事業計画に基づく評価

1. 組織的運営（ガバナンスの確立）

・運営会議において全体の方針を明確化し、所属長会議でその具体化を論議する流れで進めた。職員全体には報告、連絡、相談を徹底し、事象について事業所間で共有に努めた。浸透しきれていない側面もあり、今後も継続してガバナンスの構築を図りたい。

2. 会議の充実

・「運営会議」「所属長会議」「職員会議」を確実にを行うことで、それぞれの役割を明確にし、福祉会の意思決定や合意形成のシステムづくりを進めた。継続し成熟させていくことが重要である。

・事業所の動静、社会福祉を取り巻く情勢を日々メール等で情報共有し、各会議で論議し確認を行った。

・安心安全及び人権に配慮した支援が行われているか、各会議の重点議題として意識的に論議し、問題があれば改善に向けた手だてを確認した。

3. 財政の安定化

・所属長会議において四半期毎に財政状況を伝えた。細かい理解には至らない側面もあるが、状況の把握につながり財政の意識は高まったと思われる。

・管理職、支援及び事務職員の適正配置、給与表の一部改正等により財政的には改善を見せている。今後、施設整備積立金及び人件費積立金が必要であり、少しずつでも内部留保を蓄えていく必要がある。

4. グループホーム改革

・4月に新規男性ホーム（ほうそのホーム）を建設したことにより、昨年の新規女性ホーム（はぜホーム）と合わせて、高齢・重度化傾向にある利用者が安心して暮らせるため設備改善につながった。全体として宿泊のスタッフ配置は減少したものの、特に女性スタッフの確保が進まず、一部スタッフの負担が続いている状況を今後改善していく必要がある。

5. 通所施設の活動内容の検討

・高齢化、重度化の利用者の安全のため部分的ではあるが設備改善を行った。支援においては、個別のプログラムで利用者個々のニーズに合わせた取り組みを行っが、どこの事業所も高齢化が進んでおり、現状に対応するグルーピングの検討が必要になってきている。

・地域の利用ニーズに対応していくために、「クリエイティブスペースていすと」において新規の利用者1名を迎えた。また、エコ・クリーン相楽でも利用希望者1名が実習を行い、平成27年度受け入れ予定であり、可能な部分での受け入れを進めた。

6. 職員育成

1) 法人内研修の実施

・「虐待防止について」 京都ライフサポート協会 理事長 樋口 幸雄氏
7月5日（木） かしのき苑

・「基本的支援（自閉症）」 小規模作業所「七」 施設長 櫻井 基生氏
9月5日（金） デイセンター

・「基本的支援（身体介護）」 精華町社会福祉協議会 在宅支援係長 井上敏子氏
11月14日（金） 作業所

2) 外部研修への参加

京都府社会福祉協議会等各団体が実施する研修に積極的に参加した。

3) 資格試験取得に向けて業務的配慮を行い、新たに3名が介護福祉士を取得し、職員（パートを除く）の87%が介護福祉士及びホームヘルパーの資格を持つことになった。

総務部

平成26年度 事業報告(案)

継続した事業運営を行うためには、組織や財政の早急な抜本的な改革が必要であった。

平成26年度は財政の立て直しを基本とし、各種規程（就業規則、給与規程）の改定などを実施。また事業計画をもとに以下の事業を実施した。

<計画に即した評価>

1 継続的運営のための財政安定化

- ・適正な人員配置を行い、人件費率の適正化に努め、鑑定的な財務状況を見出すよう努める。
- ・各施設の運営と財政状況を所属長と密に話し合いを進め、予算の執行状況を随時チェック、計画的財政運営に努める。

制度上定められた人員配置基準をもとに、適正な人員配置を各施設で実施した。また、物品購入、設備等改修などにかかる費用について、起案書の精査を十分に行い経費の削減に努めた。その結果、人件費率は昨年度決算比で約10%の減、当期活動収支差額は24,742千円の黒字計上（昨年度は11,015千円の赤字）となり、一定の成果があり財務状況に改善が見られた。

しかし、人件費率は依然高く、積立金等の計上ができるまでの資金的余裕はまだないため、さらなる改善に努める必要がある。

2 障害者総合福祉法の動向等への対応

- ・グループホームとケアホームの一元化
- ・障害程度区分の見直し
- ・今後の制度の動向への迅速な対応

平成26年度からグループホームとケアホームが一元化され、請求等仕組みが大きく変更された。グループホームからの毎月の支援情報を請求情報として受理し、毎月の請求業務が円滑に進むよう努めた。また、作成した請求情報をグループホームへフィードバックして確認してもらうことで正確な請求ができるよう努めた。

平成27年度は全体的に制度が大きく変更があるため、引き続き迅速な対応に努めたい。

3 総合調整機能の強化

- ・組織全体の総合調整を行い、組織内外とのネットワークの調整に努め、連絡等周知徹底の強化に努める。

組織内の各連絡については、所属長経由でメール等により都度実施した。行政等対外的な連絡調整についても各施設と連絡を取りながら実施してきたが十分とはいえず、行政からの情報を的確にキャッチし、各事業所への連絡をタイムリーに行っていくよう努めていきたい。

4 新会計基準への移行

- ・新たな会計基準への移行が円滑に行えるよう準備する。

平成27年度からの社会福祉法人会計基準への移行の準備を昨夏よりすすめ、昨年11月に新会計基準対応のソフトを導入した。平成27年度当初から運用を開始し、問題なく稼働している。

平成26年度の決算承認後、貸借対照表科目等の新会計基準への移行作業を進めていきたい。

<別添1>

平成26年度 理事会・評議員会の開催状況

理事会

	開催日時	場所	議案内容	出席理事	出席監事
第1回	平成26年5月23日	相楽デイセンター	第1号議案 平成25年度事業報告(案)について 第2号議案 平成25年度決算報告(案)について 第3号議案 監事監査報告について 第4号議案 定款変更について 第5号議案 給与規程の変更について	11名	2名
第2回	平成27年3月25日	相楽デイセンター	第1号議案 任期満了に伴う評議員の選任同意について 第2号議案 法人事業の変更(廃止)と定款変更について 第3号議案 社会福祉法人会計基準への移行と 経理規程の改定について 第4号議案 平成26年度補正予算(案)について 第5号議案 平成27年度事業計画(案)・予算(案)について 第6号議案 京都府指導監査の報告と専決規程の制定について 第7号議案 共済会退職金制度の新制度への移行と京都社会福祉事業 企業年金基金にかかる取扱い規程の制定について 第8号議案 就業規則及び給与規程の改定について 第9号議案 主要人事について	10名 (書面評 決1名)	1名

評議員会

	開催日時	場所	議案内容	出席評議員	出席監事
第1回	平成26年5月23日	相楽デイセンター	第1号議案 平成25年度事業報告(案)について 第2号議案 平成25年度決算報告(案)について 第3号議案 監事監査報告について 第4号議案 定款変更について 第5号議案 給与規程の変更について	20名	2名
第2回	平成27年3月25日	相楽デイセンター	第1号議案 任期満了に伴う理事・監事の選任同意について 第2号議案 法人事業の変更(廃止)と定款変更について 第3号議案 社会福祉法人会計基準への移行と 経理規程の改定について 第4号議案 平成26年度補正予算(案)について 第5号議案 平成27年度事業計画(案)・予算(案)について 第6号議案 京都府指導監査の報告と専決規程の制定について 第7号議案 共済会退職金制度の新制度への移行と京都社会福祉事業 企業年金基金にかかる取扱い規程の制定について 第8号議案 就業規則及び給与規程の改定について 第9号議案 主要人事について	20名	1名

<別添2> 平成26年度 補助金・助成金・委託費一覧

補助金・助成金・委託費名	事業所	補助金額
都道府県補助金収入		7,000,387
民間社会福祉施設サービス向上補助金 運営・人材確保基盤強化事業	相楽作業所 精華地域活動センター「心」 (クリエイティブスペース)ていすと サービスセンター相楽 エコクリーン相楽	1,830,787 1,171,080 161,530 185,890 95,638 216,649
京都府障害者相談支援ネットワーク事業補助金	相談支援事業	5,000,000
京都府心身障害者サービス利用支援事業補助金	サービスセンター相楽 精華町 木津川市	169,600 115,200 54,400
市町村補助金収入		1,154,923
精華町移送サービス自動車運行管理費	サービスセンター相楽	307,200
精華町移送サービス受託料	サービスセンター相楽	683,200
重度障害児者在宅生活支援事業	相楽デイセンター 精華町 木津川市	164,523 80,616 83,907
委託料収入		11,301,600
精華町障害者相談支援事業	相談支援事業	11,247,200
精華町障害程度区分認定調査	相談支援事業	54,400
借入金利息補助金収入		868,988
民間社会福祉施設整備資金借入金利子補給金(施設整備分) 施設整備事業分	相楽デイセンター ケアホーム相朋舎	868,988 347,600 521,388
設備整備補助金収入		256,662
民間社会福祉施設サービス向上補助金 運営・人材確保基盤強化事業	サービスセンター相楽 エコクリーン相楽	256,662 138,578 118,084
借入金元金償還補助金収入		3,921,080
民間社会福祉施設サービス向上補助金 運営・人材確保基盤強化事業	相楽デイセンター	1,171,080
社会福祉・医療事業団借入金償還補助金	相楽デイセンター 精華町 木津川市	2,750,000 1,104,950 1,645,050
総合計		24,503,640

<別添3>

平成26年度介護給付費等請求額一覧(代理受領分のみ、利用者負担は除く)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相楽作業所 〔生活介護〕	精華町	4,504,443	4,296,653	4,527,773	4,726,836	3,969,579	4,039,706	4,502,742	3,911,829	4,370,463	4,151,703	4,164,397	4,747,835	51,913,959
	木津川市	4,325,094	4,159,074	4,035,337	4,145,653	3,637,127	3,744,470	4,260,993	3,401,069	3,748,241	3,636,491	3,533,983	3,974,672	46,602,204
	奈良市	224,327	212,189	120,919	246,331	180,715	156,034	214,562	189,628	156,034	132,631	156,034	225,290	2,214,694
	京田辺市						240,855	275,524	216,164	240,429	228,727	229,153	265,110	1,695,962
	合計	9,053,864	8,667,916	8,684,029	9,118,820	7,787,421	8,181,065	9,253,821	7,718,690	8,515,167	8,149,552	8,083,567	9,212,907	102,426,819
相楽デイセンター 〔生活介護〕	精華町	5,363,167	4,920,191	5,214,330	5,394,774	4,607,971	5,036,732	5,263,735	4,264,996	4,620,938	3,874,191	4,561,691	5,144,813	58,267,529
	木津川市	4,908,874	4,567,593	4,729,297	4,907,396	4,028,753	4,260,971	4,848,044	3,907,801	4,420,363	3,448,348	4,093,000	4,689,245	52,809,685
	宇治市	178,981	169,510	178,007	186,505	161,013	169,510	195,843	161,864	169,510	144,454	161,449	186,505	2,063,151
	合計	10,451,022	9,657,294	10,121,634	10,488,675	8,797,737	9,467,213	10,307,622	8,334,661	9,210,811	7,466,993	8,816,140	10,020,563	113,140,365
「心」	精華町	1,583,710	1,591,082	1,506,019	1,716,433	1,474,181	1,362,993	1,783,023	1,469,140	1,353,917	1,424,900	1,321,612	1,408,504	17,995,514
	合計	1,583,710	1,591,082	1,506,019	1,716,433	1,474,181	1,362,993	1,783,023	1,469,140	1,353,917	1,424,900	1,321,612	1,408,504	17,995,514
ていすと	精華町											54,715	52,555	107,270
	木津川市	1,688,448	1,623,228	1,704,074	1,801,174	1,556,639	1,638,082	1,697,278	1,287,473	1,485,039	1,531,277	1,508,159	1,743,995	19,264,866
	合計	1,688,448	1,623,228	1,704,074	1,801,174	1,556,639	1,638,082	1,697,278	1,287,473	1,485,039	1,531,277	1,562,874	1,796,550	19,372,136
エコ・クリーン相楽 〔生活介護〕	精華町	810,031	812,080	854,951	849,122	749,658	819,268	873,904	754,089	778,262	748,096	782,724	874,645	9,706,830
	木津川市	551,168	567,868	563,103	585,431	507,921	554,190	592,814	403,034	457,100	517,524	458,225	564,969	6,323,347
	合計	1,361,199	1,379,948	1,418,054	1,434,553	1,257,579	1,373,458	1,466,718	1,157,123	1,235,362	1,265,620	1,240,949	1,439,614	16,030,177
〔就労継続支援〕	精華町	126,847	132,470	138,527	138,963	120,779	126,847	138,092	125,105	120,881	113,851	115,157	138,963	1,536,482
	木津川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	126,847	132,470	138,527	138,963	120,779	126,847	138,092	125,105	120,881	113,851	115,157	138,963	1,536,482	
エコ・クリーン相楽合計		1,488,046	1,512,418	1,556,581	1,573,516	1,378,358	1,500,305	1,604,810	1,282,228	1,356,243	1,379,471	1,356,106	1,578,577	17,566,659
日中支援系合計		24,265,090	23,051,938	23,572,337	24,698,618	20,994,336	22,149,658	24,646,554	20,092,192	21,921,177	19,952,193	21,140,299	24,017,101	270,501,493
居宅介護	精華町	622,075	573,607	555,825	575,007	623,740	504,210	582,412	438,057	489,172	414,373	478,933	485,909	6,343,320
	木津川市	460,765	525,916	407,855	462,959	391,811	334,582	556,268	425,796	402,508	328,020	270,612	307,777	4,874,869
	奈良市	3,204	8,253	31,535	3,204	6,195	18,921	6,388	3,204	20,077	17,927	18,941	13,689	151,538
	宇治市	7,209	2,464	8,081	4,907	4,745	3,954	4,907	3,772	3,772	1,318	4,907	2,464	52,500
	京田辺市						18,799	21,699	21,699	27,590	16,507	20,665	16,507	143,466
	合計	1,093,253	1,110,240	1,003,296	1,046,077	1,026,491	880,466	1,171,674	892,528	943,119	778,145	794,058	826,346	11,565,693
行動援護	精華町	114,043	225,846	154,683	162,045	90,792	205,961	91,621	174,730	201,387	145,679	172,134	127,934	1,866,855
	木津川市	119,406	267,438	188,438	170,186	235,709	177,671	138,560	157,857	196,064	222,885	134,889	222,225	2,231,328
	合計	233,449	493,284	343,121	332,231	326,501	383,632	230,181	332,587	397,451	368,564	307,023	350,159	4,098,183
重度訪問介護	木津川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
移動支援 (地域生活支援事業)	精華町	83,166	94,625	96,695	111,782	61,088	100,518	87,282	105,830	83,166	81,262	69,969	133,049	1,108,432
	木津川市	82,668	182,146	98,770	100,098	113,212	101,758	108,662	125,828	136,452	110,722	83,498	138,581	1,382,395
	奈良市	0	11,600	0	6,500	0	0	12,800	0	4,000	11,300	4,000	3,700	53,900
	宇治市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	165,834	288,371	195,465	218,380	174,300	202,276	208,744	231,658	223,618	203,284	157,467	275,330	2,544,727
ホームヘルプ系合計		1,492,536	1,891,895	1,541,882	1,596,688	1,527,292	1,466,374	1,610,599	1,456,773	1,564,188	1,349,993	1,258,548	1,451,835	18,208,603
短期入所	精華町	406,608	439,968	437,789	400,100	468,686	421,312	364,082	320,236	404,114	382,913	422,923	374,150	4,842,881
	木津川市	338,367	345,182	368,310	400,394	274,506	322,183	273,372	274,264	275,753	290,345	271,090	316,738	3,750,504
	宇治市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	京田辺市						0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	744,975	785,150	806,099	800,494	743,192	743,495	637,454	594,500	679,867	673,258	694,013	690,888	8,593,385
一時支援 (地域生活支援事業)	精華町	165,800	137,050	164,650	172,700	151,400	251,600	163,700	161,900	179,800	167,100	170,150	166,650	2,052,500
	木津川市	292,200	293,700	314,600	309,300	272,000	279,400	290,300	280,200	259,400	244,000	234,800	269,900	3,339,800
	宇治市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	458,000	430,750	479,250	482,000	423,400	531,000	454,000	442,100	439,200	411,100	404,950	436,550	5,392,300
ていすと(ショート)	精華町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	木津川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心(ショート)	精華町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	木津川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ショートステイ系合計		1,202,975	1,215,900	1,285,349	1,282,494	1,166,592	1,274,495	1,091,454	1,036,600	1,119,067	1,084,358	1,098,963	1,127,438	13,985,685
グループホーム	精華町	2,306,427	2,487,326	2,431,792	2,475,730	2,607,306	2,428,054	2,737,733	2,606,308	2,506,370	2,474,121	2,277,983	2,570,921	29,910,071
	木津川市	3,125,283	3,158,258	3,017,753	3,203,914	3,133,956	3,063,584	3,143,556	2,901,599	3,110,624	3,144,838	2,869,053	3,245,000	37,117,418
	奈良市	211,967	273,689	264,863	273,689	273,689	276,183	273,689	264,863	285,009	290,679	258,531	276,519	3,223,370
グループホーム系合計		5,643,677	5,919,273	5,714,408	5,953,333	6,014,951	5,767,821	6,154,978	5,772,770	5,902,003	5,909,638	5,405,567	6,092,440	70,250,859
計画相談支援	精華町	576,206	390,998	539,701	420,522	334,987	468,480	470,450	482,210	493,710	357,354	355,387	694,491	5,584,496
	木津川市	16,284	16,284	0	195,408	16,284	48,852	195,408	113,988	288,102	42,768	39,726	145,662	1,118,766
	奈良市						16,284	0	0	0	0	13,242	16,284	45,810
	宇治市						0	0	0	0	0	0	0	0
	京田辺市						16,284	16,284	16,284	16,284	16,284	16,284	0	97,704
グループホーム系合計		592,490	407,282	539,701	615,930	351,271	549,900	682,142	612,482	798,096	416,406	424,639	856,437	6,749,072
全事業合計		33,196,768	32,486,288	32,653,677	34,147,063	30,054,442	31,208,248	34,185,727	28,970,817	31,304,531	28,712,588	29,328,016	33,545,251	372,946,640

<別添4>

平成26年度特定障害者特別給付費(グループホーム家賃助成)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
グループホーム													
精華町	110,000	110,000	110,000	110,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	110,000	110,000	110,000	1,370,000
木津川市	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	1,560,000
奈良市	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	120,000
グループホーム系合計	250,000	250,000	250,000	250,000	260,000	260,000	260,000	260,000	260,000	250,000	250,000	250,000	3,050,000
全事業合計	250,000	250,000	250,000	250,000	260,000	260,000	260,000	260,000	260,000	250,000	250,000	250,000	3,050,000

健康管理部
平成26年度 事業報告(案)

<計画に即した評価>

1. 給食関係

(1) 通所事業所の給食を円滑に運営して行けるように努める。

- ・給食提供日数/年間 484 日 (2 箇所…相楽作業所 243 日・相楽デイセンター241 日)
(提供食数 相楽作業所 15,937 食・相楽デイセンター 15,384 食)・・・別紙資料①参照
- ・給食 1 食を 540 円で提供した。(職員・一般)(利用者は食材費 310 円負担)
- ・給食委託先に食中毒三原則(手洗い・加熱・保冷)を厳守するよう要望した。
前年度から食材の見直しを行い、外国産を取りやめ、国産野菜を使用するように変更した。
また、今年度は地元野菜を業者に納入してもらった。そして、一月ごとに食材料の安全性について確認を行なった。年間を通して地元野菜を月平均で 7 回取り入れた。(1 回平均 4 品目)

(2) 利用者・職員の意見を聞きながら栄養バランスのとれた献立になるよう努める。
また、個人対応も含めて適量配膳になるよう給食を提供する。

- ・美味しい給食となるよう、嗜好調査を参考にしたり、検食日誌や利用者の直接意見を聞き、新メニューも含めた献立作成をした。
- ・個人に合った配膳になるよう努め、日々の残債も確認した。

(3) 衛生面では、食中毒や感染症を起こさないように充分注意する。

- ・施設外の事業所(ていすと)にも給食を提供するため、温度管理に注意して運搬するよう保温・保冷容器等の配慮をした。(ていすと・デイセンター厨房 2 カ所で配送記録を付けた。)
- ・衛生面では、食中毒や感染症を拡大させないように次の点に留意した。
アルコール手指消毒機や薬剤のスプレーによる消毒を実施した。また、調理実習・お菓子作りについて、マニュアルに従って実施し、ノロウイルス胃腸炎他食中毒を防止した。
- ・手洗い場など施設内全般の消毒を実施、手洗いの啓発、利用者の体調不良時に早期に気づき対処した。

2. 医療・保健関係

(1) 利用者・職員の健康診断の実施

- ① 平成 26 年度より健康診断を年 1 回とした。⇒協力医療機関である精華病院で 9 月に実施。もしくは、精華町在住で 40 歳以上利用者 26 名の方々には、特定健康診査・がん検診を推奨し受診して頂いた。木津川市はがん検診のみ 3 名実施。そのため、内容も充実し、費用面でも安価で実施できた。【表 1】
- ② 歯科健診と歯科指導(フォロー健診)を 1 事業所 1 回ずつ実施⇒定期的に歯磨き啓発

ができ、歯科の治療につなげる事ができた。(京都府の事業の都合により、平成26年度は相楽作業所のみ実施となった。)【表2】

③ 利用者の健康管理を目的とした体重(血圧)測定を【表3】の通り実施した。年間一覧表を家庭に見てもらい適正体重の把握を啓発。利用者自身にも声かけを実施し、少数の利用者には改善が見られた。

④ 職員は年1回の健康診断を必須としている。精華病院か協会けんぽの指定病院のどちらかで受診した。なお、女性の乳がん・子宮がん検診を協会けんぽの指定する年度に(2年に1回)実施とした。【表4】

・職員の深夜従事者検診を今年度から開始した。(年2回・延べ6名)

(2) 感染症の予防に努め、発生時は早期に対処し、感染拡大を防ぐよう努める。

・感染症予防対策としてB肝ワクチンやインフルエンザワクチン接種を希望する職員に実施した。なお、インフルエンザワクチン接種については、精華病院の医師が施設に来所し、利用者と職員が同時に接種を実施した。【表5】【表6】

・年間を通してノロウイルス・インフルエンザ両方の対策として、アルコールと新しい消毒薬(ジェスパ)を併用した。また、冬期はノロウイルス(感染性胃腸炎)やインフルエンザの大流行を防止するため、11月から翌4月まで新薬剤と塩素薬剤を併用し消毒を実施した。

・利用者の日々の体調管理の実施(不調に早めに気づき、支援するようにした。)

(3) 通院援助を円滑に進めていけるよう、家庭や関係機関と連携をとる

・通院担当を決めて、本人(ご家族)や担当や関係機関と連携をとるよう努力した。

<資料>

【表1：利用者健康診断 1回目】※ガン検診も含む

実施日	対象者	場所	人数	内容
平成26年 5月 22・23・ 28・29・ 30日	特定健診(①)・ ガン検診に該当 する利用者(精 華町の40歳以 上の希望する利 用者)	精華町役場 (精華町)	精華町 26人	基本健診(問診・身体 計測・検尿・血圧測定・ 血液検査・心電図・診 察・肺がん・大腸がん・ 前立腺がん検診)
平成27年 2月3日	精華町の利用者 (40歳以上の 奇数年生まれの 女性)	精華町役場	精華町 4人	乳がん検診(触診・マ ンモグラフィー) 骨密度測定

平成26年 5月8日	木津川市の利用者 (40歳以上)	木津保健センター	木津川市 1人	大腸がん検診 (グループホーム支援)
平成26年 6月12日	木津川市の利用者 (40歳以上の女性)	学研都市病院	木津川市 2人	乳がん検診(触診・マンモグラフィ) (グループホーム支援)
平成26年 9月 3・4・11・ 12日	① 外の利用者 (ガン検診済みの人は胸部X線検査以外を受けた)	精華病院	78人 (別に欠席者及び通院中の利用者9名)	血圧測定、身体測定、血液検査、尿検査、胸部X線検査、心電図検査(35歳以上)、内科診察
平成26年 9月3・4日	乳がん健診 女性全員対象で希望者	精華病院	37名	

【表2：歯科検診と歯科指導(歯科検診フォロー)】※相楽作業所で実施

日程	内容	実施人数	実施主体
<u>1回目</u> 平成26年 11月18日	相楽作業所 歯科検診(歯科医・ 歯科衛生士)	【作34人、 エコ8人】 【デイ4人、 ていすと5人】	京都府歯科医師会(歯 科衛生士2名)、山城 歯科医師会(歯科医師 2名)
<u>2回目</u> 平成27年 2月10日	相楽作業所 歯科指導 (歯科衛生士)	【作33人、 エコ8人】 【デイ3人、 ていすと6人】	京都府歯科医師会 (歯科衛生士2名)

【表3：体重測定(血圧測定等)の実施状況】

項目	対象者	実施回数	人数
体重測定	全利用者	年間8回	全員
体重・血圧測定	生活習慣病のあるフォ ローの必要な利用者	毎週1回 (年間40回)	12人(作業所) (男性9人、女性3人)

【表4：職員健診実施状況】※週30時間以上勤務の職員対象

実施日	対象者	場所	人数	内容
平成26年 9月3・4・ 11・12日	協会けんぽ に該当しな い職員	精華病院	26人	血圧測定、血液検査、尿検査、胸部X線検査、心電図検査(35歳以上)、内科診察 ※①
年間を通して 予約	協会けんぽ 健診で該当 する職員	指定病院 から選択	40人 (内子宮 がん健診 8人)	基本健診(問診・身体計測・検尿・血圧測定・血液検査・心電図・レントゲン・便潜血検査、胃がん健診・診察等) 乳がん検診(触診・マンモグラフィ)40歳以上の女性全員で希望者(2年に1回) 子宮がん健診…20歳以上の女性で希望者(2年に1回)
職員採用時	随時	精華病院	2人	※①と同じ内容+視力・聴力・心電図検査は年齢関係なしで実施

【表5：肝炎ワクチン接種の実施状況】

実施日	対象者	場所	人数	内容
平成26年 4月～翌1月 に実施	希望する 職員	精華病院	右の1のみ 41人 2から5まで 通して9人 (年間) 抗体1月9人	1. 抗体検査4月 2. ワクチン接種1回目、5月 3. ワクチン接種2回目、6月 4. ワクチン接種3回目、平成26年12月 5. 抗体検査、平成27年1月 6. 来年度の希望調査実施3/10～

【表6：インフルエンザワクチンの接種】

実施日	対象者	場所	人数	内容
平成26年 11月 11・20日	希望する職員と 希望する利用者	相楽作業所 相楽デイセンター	利用者 63人 職員 54人	精華病院の医師が施設に出張してのインフルエンザワクチン接種(1回接種)

※資料①給食提供食数

平成26年度 給食提供食数(単位:食)【相楽作業所分】

2014年度

所属/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相楽作業所 利用者	715	669	680	706	617	654	696	565	643	631	633	718	7,927
心 利用者	166	154	153	188	150	146	190	137	144	135	124	150	1,837
心 職員	60	56	57	67	55	57	66	47	56	54	50	57	682
心合計	226	210	210	255	205	203	256	184	200	189	174	207	2,519
ショートステイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修	0	0	0	10	0	0	16	8	0	5	5	0	44
来客(ボラ)	2	5	4	7	9	3	7	5	4	24	5	3	78
職員(相楽作業所)	475	448	459	484	417	428	428	375	424	427	423	481	5,269
職員(その他の所属)	7	7	8	5	5	10	28	6	6	6	5	7	100
総合計(食)	1,425	1,339	1,361	1,467	1,253	1,298	1,431	1,143	1,277	1,282	1,245	1,416	15,937
給食提供日数(単位:日)	21	20	21	22	19	20	22	18	20	19	19	22	243

【相楽デイセンター分】

所属/日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相楽デイセンター利用者	813	777	806	831	693	742	772	651	696	603	702	760	8,846
ていすと 利用者	158	156	161	176	150	160	149	116	132	128	153	169	1,808
ていすと 職員	66	65	61	67	56	59	59	48	53	47	56	78	715
ていすと合計	224	221	222	243	206	219	208	164	185	175	209	247	2,523
ショートステイ	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
研修	0	0	0	0	0	16	2	0	24	8	40	0	90
来客(ボラ)	4	7	6	3	3	4	4	4	4	3	4	4	50
職員(相楽デイセンター)	349	321	324	344	278	284	312	273	266	232	246	285	3,514
職員(その他の所属)	34	33	32	34	28	30	34	25	27	22	26	30	355
総合計(食)	1,429	1,360	1,390	1,455	1,208	1,295	1,332	1,117	1,202	1,043	1,227	1,326	15,384
給食提供日数(単位:日)	21	20	21	22	19	20	22	18	20	17	19	22	241

2日休所

相楽地域障害者生活支援センター

平成26年度 事業報告(案)

京都府から総合相談支援体制整備事業の補助を受け、山城南圏域内における障害福祉サービスの課題検討を行った。

精華町から相談支援事業の委託、特定相談支援事業、障害児特定相談支援事業の指定を受け、相談対応とサービス等利用計画の作成を行った。

26年度は、サービス等利用計画の作成業務に追われ、圏域課題の検討、通常の相談対応について、丁寧に行う時間がとれなくなった。

事業内容

<計画に即した評価>

(1) 精華町障害者相談支援事業の実施

①相談支援事業の実施

- ・地域生活に関する相談への対応、サービス利用の調整を行う。
- ・精華町地域障害者自立支援協議会の運営と事務局機能を担う。
- ・精華町障害者虐待防止センター機能のうち、通報受理および相談等の受付対応

※相談件数等別紙

精華町地域障害者自立支援協議会について

《全体会》

日程	内容	会議参加者数
平成26年 12月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・部会の活動報告 ・山城南圏域障害者自立支援協議会について ・精華町障害福祉計画について 	14名
平成27年 3月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・部会の活動報告 ・精華町障害福祉計画について 	15名

《専門部会》

部会名称	内容	開催回数
住民参加部会	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時マニュアルの検討 ・精華町防災訓練について 	部会2回
権利擁護部会	権利擁護（成年後見など）に関する検討。	部会7回
発達支援部会	26年度部会開催されず。	部会0回

・精華町虐待防止センター機能のうち、通報受理および相談等の受付窓口機能を担ったが、対応したケースはなかった。

通報・相談窓口としての対応が十分にできるように、京都府障害者虐待防止・権利擁護研修へ1名参加した。

②障害支援区分認定調査の実施

障害支援区分認定調査の委託を受け、精華町在住者の認定調査を実施する。

- ・26年度件数 6件

(2) 特定相談支援事業・障害児相談支援事業の実施

26年度中に、障害福祉サービス等を利用するすべての人の計画作成をしていくことになっているため、精華町、木津川市と協議をしながらすすめていく。

精華町在住者に関しては、月ごとの計画作成該当者を町と協議・調整し、サービス担当者会議を定例開催していく。

木津川市在住者に関しては、相楽福祉会通所者および相談支援で関わっているケースに限定し作成業務を行う。

障害者総合支援法上のサービス利用を希望する方に関して、サービス調整と同時に「サービス等利用計画」の作成を行った。

サービス等利用計画作成については、対応可能な件数について行政と協議しながら行った。そのため、障害児へのサービス提供まで対応できない状況となった。

精華町外在住者へのサービス提供に関しては原則、相楽福祉会利用者および以前から相談対応を行っていたケースに限定し、業務を行った。

※計画作成件数・対応件数等別紙

(3) 京都府障害者相談支援ネットワーク事業における総合相談支援体制整備事業の実施（山城南圏域障害者総合相談支援センターの運営）

①ゼネラルケアマネジャー（専門相談員）を配置し、山城南圏域内の相談支援機関、事業所への指導、助言を行う。

②困難ケースなどの個別支援会議の開催を支援する。

虐待が疑われるケース、医療的ケアを必要とする重症心身障害児ケース、児童養護施設入所ケースへの対応などについて、圏域内相談支援機関、事業所と連携をとり、ケースへの対応方法について、助言を行った。

③山城南保健所と連携をとり、山城南圏域障害者自立支援協議会の運営を行う。

山城南圏域障害者自立支援協議会について

《全体会》

日時	内容	参加者数
平成27年 3月10日	1) 市町村地域自立支援協議会について 各市町村より取組み報告 2) 山城南圏域障害者自立支援協議会について 平成26年度活動報告・平成27年度活動計画報告	26名

	相談支援事業者の活動報告	
--	--------------	--

《専門部会》

部会名称	内容	開催回数
精神障害者部会	圏域内当事者、関係機関の交流を目的とした活動の実施。 ケース検討会、家族交流会の実施。	部会 6 回 合同クリスマス会 1 回 ケース検討会 3 回 家族交流会・講演会 1 回
発達支援部会	発達障害者支援に関する理解について啓発を実施・検討。	部会 1 回 研修会 1 回
就労支援部会	就労支援に関する理解について、当事者・家族および雇用主への理解を深めるための活動を実施。	部会 2 回 就労支援グループ会議 3 回 啓発・見学会 1 回
事業所連絡部会	圏域内における事業所の連携の推進。 各事業の課題について情報交換。	小部会 1 回

④市町村地域自立支援協議会の活動について、協力・助言を行う。

精華町地域障害者自立支援協議会に関しては、精華町からの委託業務で実施。総合相談支援体制整備事業としては、木津川市自立支援協議会全体会への参加を行った。

<資料>

研修会等への参加

日程	研修名	会場	参加
5/15	障害支援区分認定調査員研修	ルビノ堀川	1
10/9	京都府障害者虐待防止・権利擁護研修 市長村・虐待防止センター職員等コース	京都テルサ	1
2/5、 2/9、10	相談支援従事者現任研修	京都平安ホテル	1
2/19	京都府南部社会福祉協議会 福祉サービス利用援助事業講座	文化パーク城陽	1

会議等への参加

日程	会議名	会場	参加
6/12	京都府総合相談支援体制整備事業会議	京都府庁	1
5/29	精華町就学指導委員会	精華町役場	1

5/20	城陽支援学校 学校見学会	城陽支援学校	1
9/4	障がい者の態様に応じた多様な委託訓練	木津川市西部交流会館	1
1/28 3/13	重症心身障害児者の地域生活モデル事業に係るネットワーク会議	国立病院機構南京都病院	1
2/20	南山城支援学校高等部3年生 保護者勉強会	南山城支援学校	1
3/4	南山城支援学校高等部3年生 総合学習	南山城支援学校	1
3/11	京都府総合相談支援体制整備事業会議	ルビノ堀川	1

平成26年度 相談件数(委託・特定相談支援事業・障害児相談支援事業)

1. 相談支援を利用している障害者等(実人数)

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
18歳未満	3	1	27	0	10	0	1	42
18歳以上	39	2	97	57	11	1	0	207
合計	42	3	124	57	21	1	1	249

2. 支援方法(延人数)

	訪問	来所	同行	電話	メール	個別支援会	関係機関	その他	FAX	文書	合計
男性	157	173	48	266	0	10	171	2	0	0	827
女性	147	187	31	256	6	18	170	1	0	0	816
合計	304	360	79	522	6	28	341	3	0	0	1643

3. 支援内容(延人数)

<精華町>

	福祉サービ	障害病状理	健康・医療	不安・情緒	保育・教育	家族・人間	家計・経済	生活技術	就労支援	社会参加	権利擁護	その他	合計
男性	561	82	40	55	3	12	14	21	18	11	3	9	829
女性	453	63	56	65	4	15	20	99	2	11	15	16	819
合計	1014	145	96	120	7	27	34	120	20	22	18	25	1648

<木津川市>

	福祉サービ	障害病状理	健康・医療	不安・情緒	保育・教育	家族・人間	家計・経済	生活技術	就労支援	社会参加	権利擁護	その他	合計
男性	96	13	14	16	0	16	9	8	6	9	2	7	196
女性	36	2	7	19	0	3	7	4	2	0	4	0	84
合計	132	15	21	35	0	19	16	12	8	9	6	7	280

<和束町>

	福祉サービ	障害病状理	健康・医療	不安・情緒	保育・教育	家族・人間	家計・経済	生活技術	就労支援	社会参加	権利擁護	その他	合計
男性	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3
女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3

<南山城村>

	福祉サービ	障害病状理	健康・医療	不安・情緒	保育・教育	家族・人間	家計・経済	生活技術	就労支援	社会参加	権利擁護	その他	合計
男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
合計	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3

<京田辺市>

	福祉サービ	障害病状理	健康・医療	不安・情緒	保育・教育	家族・人間	家計・経済	生活技術	就労支援	社会参加	権利擁護	その他	合計
男性	10	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	14
女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	10	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	14

<奈良市>

	福祉サービ	障害病状理	健康・医療	不安・情緒	保育・教育	家族・人間	家計・経済	生活技術	就労支援	社会参加	権利擁護	その他	合計
男性	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
女性	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
合計	5	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	7

平成26年度 サービス等利用計画対応件数(特定相談・障害児相談)

1. 市町村別(実人数)

<精華町>

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
18歳未満	3	1	27	0	10	0	1	42
18歳以上	39	2	97	57	11	1	0	207
合計	42	3	124	57	21	1	1	249

<木津川市>

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
18歳未満	0	0	1	0	0	0	0	1
18歳以上	15	1	52	5	1	1	0	75
合計	15	1	53	5	1	1	0	76

<京田辺市>

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
18歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0
18歳以上	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	1	0	0	0	0	0	0	1

<奈良市>

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
18歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0
18歳以上	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	0	0	1	0	0	0	0	1

2. 市町村別相談方法(延人数)

	訪問	来所	同行	電話	メール	個別支援会	関係機関	その他	FAX	文書	合計
奈良市	4	0	0	0	2	0	1	0	0	0	7
精華町	304	360	79	522	6	28	341	3	0	0	1643
木津川市	97	45	8	82	8	15	23	1	0	0	279
南山城村	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	3
京田辺市	4	1	0	1	0	4	4	0	0	0	14
合計	409	407	87	605	18	47	369	4	0	0	1946

相楽作業所
平成26年度 事業報告(案)

今年度は利用者の人権が守られているか、パートも含め「業務ふり返しシート」の活用や職員会議の中で支援の中身が成人に合ったものか議論し、従来のプログラム内容の見直しを行った。また、適切な支援が行われているか、日々の職員朝礼(終礼)において、気になる支援を意識的に出し合うことで、支援内容の確認を行った。

具体的支援内容においては、個々のニーズに基づいた個別支援計画に沿って行い、中間のモニタリングでの検証も丁寧に行った。一日の流れとしては作業を中心に置き、個々に合わせた作業を新たに取り入れ、やりがいを持って作業に取り組める利用者も生まれた。一方、クラブ活動や絵画、3B体操など個々の状況に合わせて余暇的要素のプログラムも継続的に行った。また、2年に1度の宿泊旅行も小グループ単位で行い、非日常的な経験をすることができた。

施設修繕に関しては補助金利用により電気系統の修繕等に加えて、利用者の状況から遊離していた和式便器から洋式便器の取り換え、玄関の危険個所の整備等も計画及び実施した。また、支援センターの協力を得て通院や自宅での支援、休日支援を部分的に介護保険のサービスを利用することも進めた。今後も引き続き、設備面及び作業内容、グループ編成の検討を加える必要がある。

<計画に即した評価>

1. 日中活動

生産活動の在り方を見直し、個人個人に沿ったプログラムやグループ化を検討する1年とする。

下請け等で新たな作業導入や陶芸において「たたら」製品を中心に制作することによって、意欲を持って作業に取り組めるようになった利用者もでてきた。

余暇的なプログラムも積極的に行ったが、障害特性から本人の混乱を招いたり、加齢に伴い外出等で疲れが出るなどの利用者もいた。今後、安定した日常を提供できるよう、整理をしていく必要がある。

2. 支援の質の向上

- ・個別支援計画をたて、一人ひとりに沿ったサービス提供に努める。
- ・事業所会議やケース会議を行う。必要に応じて専門機関との連携
- ・班毎の会議を継続しプログラムの検証や検討を行う。
- ・日々の情報共有を行い、各職員がチームとして利用者支援できるよう努める。

4月のアセスメントに基づき個別支援計画を作成し、10月に見直しを行った。また、作業班単位ではほぼ月1回の会議を持ち、班内での利用者の状況の共有は一定進んだが、施設内全体での共有はタイムリーに行えず今後の課題を残した。

- ・利用者の高齢化などを考慮し、新たなグループ分けへの検討を行い、個別プログラムを有効に使っていく。

昨年に引き続き、医療マッサージやクラブ等で個々の状態を意識したプログラム提供を行ってきた。しかしながら転倒などの事故もあり、今後さらに設備の改善と併せ内容の検討が求められる。

- ・法人内部及び外部研修へ積極的に参加していき資質の向上を図る。
- ・作業所会議を継続し、ケース検討なども行う。

外部研修及び内部での研修には経験年数や役割に基づき参加の機会をつくり、報告の場も設けてきた。今後、経験職員が日々のOJTを行える力量を徐々につけていく必要を感じた。また、チェックシートを活用するとともに、会議において人権の問題や支援の在り方について積極的に取り上げたが、個々のケースの論議は作業班の会議で行うにとどまることもあった。

3. 事業所の機能の充実

- ・「安心・安全の確保」については最重要課題とする。
- ・「服薬管理」「安全運転」を徹底し事故の防止に当たる。

日々の朝礼で安全に関する注意喚起を行った。高齢や機能低下に伴い足元が不安な利用者と元気に動き回る利用者とが交錯しないための、設備改善と活動場所の分離が大きな課題である。

日中の服薬はトリプルチェックでミスをなくしたが、車両運行において、利用者が別の利用者の指をドアに挟む事故が起こった。ドアの開閉は職員が行うよう徹底し、その後の車両に関するアクシデントはなかった。

- ・年2回の防災訓練を継続実施する。
- ・感染防止に努め、事業所内での予防を継続する。

防災訓練は2回行い、感染症についても家族の協力も得ながら蔓延することはなかった。今後も継続的に訓練・予防を行いたい。

<資料>

1 利用者の状況

1) 利用者数

相楽作業所 39名 (男 27名・女 12名)

2) その他 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

- ・平均年齢 約 44.8 歳
- ・平均在籍年数 約 18 年 9 カ月
- ・平均障害程度区分 4.76

2 活動内容

1) 作業グループ構成 () 内はスタッフ数

陶芸 1	陶芸 2	EM	創作	箱	デイサービス
7名(4)	5名(3)	6名(3)	9名(5)	9名(6)	3名(3)

2) クラブ活動

各クラブ 12 月までにはほぼ月 1 回平日に実施した。

スポーツ			調理	文化	写真	音楽	パーティ
5名	4名	5名	4名	4名	2名	4名	7名

3) 旅行

今年度も日帰りと一泊に分けて計画・実施した。

○ 1 泊旅行

白浜アドベンチャー アドベンチャーワールド	志摩 スペイン村	大阪 グルメ	京都 グルメ	六甲山 体験・見学	US J
3名	2名	3名	3名	2名	2名

○ 日帰り

トロッコ列 車・嵐山	太秦映画村	京都万華鏡 ミュージアム	ならまち グルメ	海遊館
2名	2名	2名	3名	2名

4) 行事等

日 程	行事名・内容	参加利用者 数 () 内は スタッフ数	備 考
4/11 (木)	開所記念 理事長の話	利用者全員	食堂にて実施

5/23 (日)	精華町ふれあいまつり	1名 (2)	かしのき苑
6/20 (金)	EM班交流会	6名 家族2名	所内
6/25 (水)	陶芸1班交流会	7名 家族2名	所内
6/26 (木)	デイサービス班	3名 家族2名	所内
7/5 (金)	七夕会 (利用者の会主催)	利用者全員	所内
7/15 (火)	創作班交流会	6名 家族3人	所内
7/17 (木)	箱班交流会	8名 家族2人	所内
7/22 (火)	舞踏鑑賞会	利用者全員	かしのき苑
7/25 (金)	陶芸2班交流会	6名 (4) 家 族5名	所内
9/4 (木)	利用者検診	11名	精華病院
9/12 (金)	利用者検診	19名	精華病院
9/30 (火)	日帰り旅行	2名 (2)	トロッコ
10/10~11	一泊旅行	3名 (3)	白浜
10/15 (水)	日帰り旅行	2名 (2)	太秦映画村
10/26 (日)	精華町障害児者ふれあいの つどい	17名 (15)	むくのきセン ター
10/29 (水)	日帰り旅行	2名 (2)	京都 万華鏡
10/31~11/1	一泊旅行	2名 (2)	志摩スペイン 村
11/7~8	日帰り旅行	3名 (3)	大阪グルメ
11/11 (火)	日帰り旅行	3名 (3)	ならまち
11/14 (金)	避難訓練	利用者全員	所内
11/18 (火)	歯科検診	利用者全員	所内
11/20 (木)	インフルエンザ予防接種	21名 (25)	所内
11/21~22	一泊旅行	2名 (2)	六甲山
11/26 (木)	日帰り旅行	2名 (2)	海遊館
12/5~6	一泊旅行	2名 (2)	USJ
1/16	新年会	利用者全員	所内、他
1/23~24	一泊旅行	3名 (3)	京都グルメ

5) その他

調理、お菓子作り、散歩、カラオケ、スヌーズレンー各G r で実施
 絵画（毎週水曜日）、書道（月1回）、パソコン（第1木曜日の午後）
 医療マッサージ（週1回木曜日）3B体操ー希望者が参加

3 研修・出張（主だったもの）

日 程	研修名・内容	会 場	参加数
4/20（日）	町グローバルネット総会	精華町役場	1名
5/13（火）	町ふれあい祭り実行委員会	かしのき苑	1名
5/15（木）	町自立支援協議会総会	精華町役場	1名
5/16（金）	EM総会	精華町役場	1名
5/19（月）	相楽栄養士研究会	山城南保健所	1名
6/30（金）	福祉職のためのマナー研修	京都テルサ	1名
6/5（木）	福祉職のためのマナー研修	ハートピア京都	1名
6/5（木）	町自立支援協議会（研修）	精華町役場	1名
6/6（金）	人権研修（法人研修）	デイセンター	13名
6/11（水）	京都府集団指導	文化パルク城陽	2名
6/24（火）	町平和祭典実行委員会	精華町役場	1名
7/3（木）	町ふれあいまつり実行委員会	かしのき苑	1名
7/8（火）	町自立支援協議会（部会）	精華町役場	1名
7/11・22 10/3	キャリアアップ研修	京都テルサ 他	1名
8/11・12 27・28 9/1・2	京都府相談支援従事者初 任者研修	京都テルサ	1名
9/5（金）	法人内研修（自閉症）	デイセンター	11名
9/9（水）	町自立支援協議会（部会）	精華町役場	1名
9/22（月）	エクスクラメーションフ ァクトリー 見学	見学施設内	3名
9/26・27	福祉有償運送講習会	KSプラザ	1名
10/3（金）	町グローバルネット会議	精華町役場	1名
11/14（金）	感染症予防講習会	山城南保健所	1名
11/14（金）	法人内研修（身体障害）	作業所	8名
11/20（木）	府苦情解決セミナー	キャンパスプラザ	1名
12/2・3	近畿知福協施設長研修	ガーデンパレス	1名
12/19（金）	町自立支援協議会（部会）	精華町役場	1名

1/5 (月)	町新春賀詞交歓会	町商工会議所	1名
1/28 (水)	いづみ福祉会諮問会議	いづみ福祉会	1名
2/6 (金)	町グローバルネット会議	精華町役場	1名
2/24 (火)	京都知福協報告会 (虐待)	社会福祉会館	2名
2/25 (水)	栄養士研修	京田辺商工会館	1名
3/3 (火)	町自立支援協議会 (部会)	精華町役場	1名
3/6 (金)	町ふれあいまつり実行委員会	精華町役場	1名
3/23 (月)	町自立支援協議会 (全体)	精華町役場	1名
3/24 (火)	精華まつり実行委員会	精華町役場	1名
3/24 (火)	町人権啓発推進委員会	精華町役場	1名

4 見学・実習

① 見学・来訪 (合計 61 件)

行政関係 8 件	施設 7 件
学校関係 12 件	企業 15 件
親の会関係 4 件	地域団体 10 件
その他 5 件	

② 実習 (合計 7 人)

介護体験 2 名 社会福祉士 1 名 高校生体験 3 名 施設体験実習 1 名

5 所内事故・苦情

	内 容	件 数
事 故 等	服薬ミス (作業所内の昼食)	0 件
	車両接触	0 件
	怪我 (転倒)	4 件
	怪我 (利用者間トラブル)	2 件
	器物破損	0 件
	感染症	0 件
	見失い	1 件
	個人情報 (USB紛失)	1 件
	送迎ミス	0 件
苦 情	支援内容について	0 件
その他		0 件

6 その他

日 程	内 容	備 考
5/12 (月)	法人監事監査 (事業)	乗光監事
5/13 (火)	法人監事監査 (会計)	富田監事
5/14 (水)	親の会総会	かしのき苑
5/23 (金)	理事会	相楽デイセンター
6/17 (火)	防火設備修理	ベルテック
8/11 (月)	土練機修理	丸二陶料
8/14 (木)	ワックスがけ	フジハラ美装
11/14 (金)	避難訓練	所内
1/11 (日)	電気工事 (キューピクル)	日本テクノ
2/10 (火)	歯科指導	歯科センター
3/ 5 (木)	避難訓練	所内
4/25 (水)	理事会	デイセンター

相楽デイセンター
平成26年度 事業報告(案)

利用者の「人権」に対しては、「振り返りシート」を活用するとともに、会議等での相互指摘に努めた。今後も点検を常に行い支援を行っていききたい。

パン作業の業務軽減を図るため、冷凍生地を導入を行った。売り上げに大きな影響を持つ保育所注文や小学校の販売に関して一部冷凍生地を導入することで、少しずつではあるが業務の軽減や製品のバリエーションアップにつながった。今後も適切に導入しながら軽減や支援の質の向上を図りたい。利用者の工賃に対して違いを付けるのか話合うことがあったが継続課題となった。プログラムの再検討と合わせて考える時期に来ている。

今年度は利用者1名が病気の為亡くなられた。施設で「命」を支えることの難しさを経験した1年であった。身の丈に合った「支援」の検討と「命」に寄り添う姿勢は続けていきたい。また利用者本人の高齢化も今後の課題ではあるが、今年度は親の高齢化や体調不良などを考える1年となった。高齢に対する理解と支援を行い、他のサービスも含めた提供の在り方が必要である。

インフルエンザの感染が見られたが、休所を行うことによって拡大を抑えることができた。その後全員の検温等バイタルチェックを一定期間行った。体調管理が必要な利用者もおられるので必要に応じて対応していきたい。

<計画に即した評価>

1. 日中活動

- ・利用者・家族のニーズをもとに、個別支援計画を作成し、支援をおこなう。
- ・利用者の個々に合った作業を取り入れ、生産活動をおこなう。
- ・生産活動のみならず、個々の興味に合わせたプログラムを計画し、実施する。
- ・多様なニーズに対応できるようなメニューを検討する。

4月にアセスメントを行い、個別支援計画を作成した。10月の見直しと後期計画、振り返りを行った。

作業売り上げは増加したが、個々に合った設定は不十分であった。作業の他に各班での楽しみのプログラムはおやつ作り等実施した。

2. 支援の質の向上

- ・支援内容等について日常的に職員間で相互指摘するとともに、尊厳や適切な支援をテーマに研修をおこなう。
- ・福祉サービスの第三者評価を受診し、支援の向上につながる改善をおこなう。
- ・介助方法や業務内容を見直し支援内容の振り返りをおこない、安心かつ快適な支援をおこなう。
- ・法人内部および外部研修を活用し、見識と資質を高める。

デイセンター会議とは別に班別会議を定例化し（概ね月1回）管理職が同席し、支援計画の内容や支援の振り返りを行った。人権に関しては「振り返りシート」を記入し支援の確認を行ったが、継続して話し合っていく必要がある。介助マニュアルを作成し支援の統一化を図った。

研修は初任者研修に2名、喀痰吸引等3号研修2名、有償運送研修に3名参加した。第三者評価は受けなかった。

3. 事業所機能の充実

- ・「安心・安全の確保」については最重要課題として安全管理に努める。特に「服薬支援管理」「安全運転」を徹底し、事故の防止にあたる。
- ・インフルエンザ等の感染症に対して、予防の徹底と感染拡大を防ぐために休所を含めた迅速な対応をおこなう
- ・補助金等を活用し、利用者が快適に活動できるよう設備改善をおこなう。
- ・年2回の防災訓練を計画実施する。

服薬ミスは0件だった。車両接触が微減したが今年度もあった。引き続き安全運転を行えるよう「安全意識の徹底・技術の確認・ルートの確認」を継続していく。

インフルエンザは予防に努めていたが、1月に入り急速に感染し2～3日で利用者5名、職員8名が感染した。感染防止の為2日間の臨時休所を行った。その後休所中にも感染報告があったため、休所は感染防止に効果があった。

補助金を活用して3件の車両申請を行った。（24時間テレビ・丸紅基金・共同募金）共同募金は現在馬主財団で審査中だがそれ以外は落選した。今後エアコンの改修も必要となる。活用できる基金を検討していきたい。

防災訓練は2回実施した。車いすの方の避難が課題である。滑り台等の検討が必要。

4. その他

- ・利用者の年齢や状態に見合った将来的な日中活動について検討する

突発的な家族の状態に対応し、短期入所や一時支援では対応したが、将来的な所までは対応できなかった。

<資料>

1 利用者の状況（平成27年3月31日現在）

- ・利用者数：45名（男23名、女22名）
- ・平均年齢：約37.78歳
- ・平均在籍年数：約17年4か月
- ・平均障害程度区分：4.8

2 活動内容

（1）作業グループ

例年同様の構成で活動した。生産活動グループは、前年度比で売り上げは増加

した。冷凍生地を導入したパン班は、売上額が約100万円増加した。

パン・喫茶	紙漉	染織	花工芸	デイサービス
11名(5)	8名(4)	11名(4)	11名(4)	5名(4)

()内はスタッフ数

(2) クラブ活動

各クラブ平日に実施。費用は事業所負担とした。

音楽		カラオケ			プール・温泉		美容お しゃれ	写真 散策	散歩お でかけ
①	②	①	②	③	①	②			
4名	6名	5名	4名	5名	3名	2名	3名	5名	5名

(3) 旅行

当年度は日帰り7グループと、宿泊3グループを実施した。宿泊は前年度からの残り3グループを実施した。

日帰り

京都水族館			京都市 動物園	USJ	あべの ハルカス	嵐電 嵐山	半日
①	②	③					
3名	3名	2名	3名	2名	2名	2名	2名

宿泊

白浜アドベンチャーワールド		姫路セントラルパーク
①	②	
4名	4名	3名

(4) 行事等

日程	行事名・内容	参加利用者数 ()はスタッフ数	場所
4/5(土)	木津さくらまつり	25名(16)	木津川市中央体育館
4/19(土)	同志社きずな祭り販売	2名(2)	同志社
5/9(金)	オムロンデー交流会	30名(32)	オムロンイノベーションセンター
6/23(月)	木津川台保育所と七夕交流会	全員参加(園児スタッフ35名)	デイセンター
7/18(金)	班別行動(紙漉班)	8名(5)	あべのハルカス
7/24(木) ~25(金)	宿泊旅行	4名(3)	白浜
9/18(木) ~9(金)	宿泊旅行	4名(3)	白浜
9/22(月)	日帰り旅行	2名(3)	嵐電・嵐山
9/26(金)	日帰り旅行	3名(3)	京都市水族館
10/9(木)	班別行動(パン喫茶班)	10名(5)	タイムワーク見学
10/17(金)	班別行動(デイサービス班)	4名(4)	加茂町

日 程	行事名・内容	参加利用者数 ()はスタッフ数	場所
10/21(火)	班別行動 (染織班)	9名(5)	宇治植物園
10/23(木)	日帰り旅行	3名(3)	京都市動物園
10/25(土)	デイセンター交流会	30名(24) 家族19名	デイセンター
10/29(水)	日帰り旅行(半日)	2名(3)	イオン京都
10/30(木) ～31(金)	宿泊旅行	3名(3)	姫路 セントラルパーク
11/1(土)	木津川市スポーツ大会	21名(12)	木津川市中央体育館
11/1(土)	山城ロータリークラブ交流会	5名(1)	いづみホール
11/12(水)	日帰り旅行	2名(2)	京都市水族館
11/28(金)	日帰り旅行	3名(2)	京都市水族館
12/2(火)	同志社小学校クリスマス会	全員 (生徒教員 50名)	デイセンター
12/10(水)	日帰り旅行	2名(2)	USJ
12/12(金)	日帰り旅行	2名(1)	あべのハルカス
3/12(木)	班別行動 (花工芸班)	11名(5)	ならまち

(5) その他

調理、お菓子作り、散歩、カラオケ、スヌーズレン・・・各グループで実施。

絵画 (週1回)、パソコン (月2回)、スポーツ (月2回)、音楽プログラム (月2回)、書道 (月1回)、医療マッサージ (週1回)、スポーツ企画 (不定期)

・・・希望者が参加

3 研修・出張

介護福祉士について1名が資格取得した。

日 程	研修名・出張先	主催/行先	参加
5/8(木)	浄瑠璃寺行者まつり打ち合わせ 他 12/8(月)1/8(金)	浄瑠璃寺	1名
5/30(金)	マナー研修(初級)	京都府社協	1名
6/5(木)	マナー研修(初級)	京都府社協	1名
6/6(金)	虐待研修	相楽福祉会	10名
6/11(水)	障害福祉サービス事業者等集団指導	京都府	1名
6/14(土)	喀痰吸引等3号研修 他 6/20(金)	花ノ木医療福祉センター	2名
6/17(火)	マナー研修(中級)	京都府社協	1名
6/21(土) ～22(日)	福祉有償運送運転協力者講習会	京都運転ボランティア友の会	1名
6/25(水)	タイムワークサポートセンター見学	京都市	2名

日 程	研修名・出張先	主催／行先	参加
6/27(金)	かしのき苑あり方検討委員会	精華町	1名
7/8(火)	精華町ふれあいのつどい実行委員会 他 8/8(金)10/14(火)12/2(火)	かしのき苑	1名
7/8(火)	山城南圏域障害者自立支援協議会 他 9/9(火)12/9(火)2/10(火)	山城南保健所	1名
7/11(金)	キャリアアップ(中級)他 7/22(火)10/3(金)	京都府社協	1名
7/11(金)	木津川市障害者基本計画策定委員会 他 8/18(月)11/18(火)	木津川市	1名
7/28(月)	コーチングスキルアップ研修 他 8/4(月)	京都府社協	1名
8/7(木)	OJT研修 他 9/25のみ1名 10/24(金)	京都府社協	2名
8/11(月)	相談支援従事者初任者研修 他 8/12(火)8/27(水)8/28(木)	京都府社協	2名
8/28(木)	木津川市障害者スポーツ大会実行委員会	木津川市	1名
9/1(月)	相談支援従事者初任者研修 他 9/2(火)	京都府社協	1名
9/4(木)	相談支援従事者初任者研修 他 9/5(金)	京都府社協	1名
9/5(金)	自閉症研修	相楽福社会	14名
9/8(月)	ほっとはあと会議	ブロック会議	2名
9/17(水)	タイムワークサポートセンター見学	京都市	1名
9/26(金)	安全管理者講習	京都府公安委員会	1名
10/3(金)	デイセンター研修(個別支援計画)	デイセンター	16名
10/9(月)	虐待研修	京都府	1名
10/10(金)	キャリアアップ(初級) 他 10/16(木)12/20(土)	京都府社協	1名
11/17(月) ～18(火)	福祉有償運送運転協力者講習会	移動送迎支援活動情報センター	1名
11/14(金)	介護研修	相楽福社会	10名
12/6(土) ～7(日)	福祉有償運送運転協力者講習会	移動送迎支援活動情報センター	1名
2/17(火)	木津川市障害者のつどい実行委員会	木津川市社協	1名
2/24(火)	知福協虐待研修	京都知福協	1名
3/6(金)	自立支援協議会ガイドヘルプ小部会	デイセンター	1名
3/24(火)	京都府報酬改定報告研修	京都府	1名

4 見学・実習

(1) 見学・来訪(合計29件)

地域団体 3件

学校関係 5件

その他 3件

企業 14件

施設 4件

(2) 実習 (合計 14 人)

社会福祉実習・・・4人

保育士実習・・・4人

その他・・・・・・・・・・6人

5 所内事故・苦情

前年度比で、件数は増加。感染症は前年度比 19 件増加。1 月に入り 2～3 日の間に急速にインフルエンザに感染した。結果感染拡大防止の為 2 日間の臨時休所を行った。(1/19・20) 一方、怪我也も微増した。苦情はサービスのお断りと旅行時の職員の対応に対してあった。

内 容		件 数	備 考
事 故 等	対人トラブル	7 件	
	車輻接触	3 件	接触
	怪我	8 件	転倒・擦り傷など
	個人情報	2 件	手帳の管理など
	器物破損	1 件	
	感染症	22 件	インフルエンザ(利用者 13 名職員 9 名)
	連絡ミス	2 件	プリントの渡し忘れなど
苦 情	職員言動・対応について	2 件	サービスのお断りに対して

6 その他

日 程	内 容	備 考
5/16(金)	日本テレビ車両申請	落選
5/23(金)	理事会 他 3/25(水)	デイセンター
5/26(月)	丸紅基金車両申請	落選
7/2(水) 3/16(月)	防災訓練	避難訓練
9/3 (水)	女性利用者健診	精華町国保病院
9/11(木)	男性利用者健診	精華町国保病院
10/20(月)	消防署立入検査	相楽中部消防本部
11/11(火)	インフルエンザ予防接種 (デイセンターにて)	精華町国保病院
12/22(月)	共同募金会車両申請	馬主財団で審査中
1/19 (月) ～20(火)	インフルエンザによる臨時休所	利用者 12 名職員 7 名感染
1/23 (金)	貯水槽ポンプ修理	オリックス ファシリティーズ

精華地域活動センター「心」
平成26年度事業報告（案）

今年度は利用者の方1名が、新設グループホームへの引っ越しによる住環境の変化による精神的な不安から入院された。日々の表情の変化、言動の変化などご本人から発せられるサイン、気持ちの表れに対してサポートセンター職員、看護師と心の職員で細かに連絡を取り合いながら連携し通院、入院を進めた。それぞれの場で接している職員ひとりひとりが、利用者の普段と違う小さな変化に如何に気づくことができるか、そしてその変化に対してどう支援していくか、また本当にその対応や支援で良かったのか、それぞれが振り返ることを繰り返す日々であった。身近な支援のひとつひとつについても「私だったらどう思うか」という視点に立つことをテーマに話し合った一年であった。

利用者の高齢化や変化に対応する手段として、これからの生活をどのように支援していくかということも含めて、また利用者の選択肢を増やすという前向きな思いのもと他事業所の利用も視野に入れて話を具体的に進めていくことが今後の課題に挙げられる。

<計画に即した評価>

1. 喫茶ところを運営する。

- ・喫茶の運営を通して地域の方々と交流を深める。
- ・積極的な運営に努め、地域で広く活動することを目指す。
- ・収入の安定を図り、作業内容、支出について見直す。

パンの注文や販売会などに積極的に参加できた。地域の保育所職員への配達、ピノスでの販売など新たな販路も増やすことができた。ただ収入、支出のバランスについて見直すことができなかつた。今後は消費税の増税に伴い、パンなどの価格の見直しが課題である。

2. 利用者のニーズに基づいた支援計画を作成する。

- ・利用者、家族の個別のニーズに沿った支援を目指す。
- ・定期的に見直し、状況に応じた支援を行う。
- ・年齢や体力を考慮した日中活動について検討し、より個別に支援する。

4月にアセスメントを行い、個別支援計画を立てた。10月には中間見直しを行った。年度初め、中間見直し、総括と心会議で確認し職員間で課題を共有した。また刺繍作業、ウォーキングなどの活動が必要と思われる利用者に対して継続してプログラムを実施した。

今後は利用者の高齢化による対応のひとつとして他事業所の利用も視野に

入れていくことが課題である。

3. 職員間の情報共有、連絡、連携を確実にし安定した業務を行う。

- ・支援内容について振り返り、相互に指摘し、利用者を尊重した支援を行う。
- ・外部、内部研修へ積極的に参加し、支援の向上に努める。
- ・ミーティングの時間を活用して積極的に意見交換し、チームとしての力を高めることを目指す。

毎日ミーティングの時間を設け各利用者の支援内容について意見交換し話し合った。特に日中の時間についても引き継ぎ、確認をおこなっていた。ただ研修の参加については職員体制の取り辛さなどの理由から、外部の研修については参加の機会が少なかった。職員の知識、技術、支援の質の向上を目指すにあたり、積極的な参加を促すことを今後も課題とし、目指していきたい。

4. 安全管理に努め、安心安全な環境を整える。

- ・利用者、家族、医療機関、他事業所と連携し健康管理に努める。
- ・作業環境の見直しやヒヤリハットの報告、公開などで情報を共有し、より職員の安全意識を高め、安心安全な環境を整える。

年度途中、利用者の状態が不安定になり看護師、サポートセンターの職員と連携し医療機関へつなげた。またグループホーム利用者の急な通院についてもサポートセンター、サービスセンターと連絡を取りながら対応した。年間を通じて大きな怪我や事故を起こすことなく無事に過ごせた。来年度についても継続して安心安全な環境を整えていく。

<資料>

1) 日中活動支援

1, 利用者の状況

利用者数 ; 定員 10 名

利用者数 10 名 (男 3 名、女 7 名)

平均障害程度区分 3, 7 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

2, 活動内容

・ 喫茶こころ

毎週火曜日～土曜日に営業 5 月、11 月、2 月にかしのき苑、または地域の行事に伴い臨時開所 (翌火曜日を代休とした)

・ 配達

約 17 回/月

配達先 ・ 精華町役場職員

・ 地域の小学校 (学童保育)

・ 地域の保育所職員 など

・ 販売

日程	販売先	参加利用者数 (スタッフ数)	備考
毎月 1 回	南山城支援学校	9 名 (3 名)	
毎週土曜日	J A 精華町農産物直売所	J A へ委託	
毎月 2 回	発達支援センターすてっぷ	9 名 (3 名)	
毎月 1 回	精華町庁舎販売	9 名 (3 名)	
毎月 1 回	ピノス販売	9 名 (3 名)	
4/27	終活フェア	(2 名)	
5/25	かしのき苑ふれあいまつり	9 名 (4 名)	臨時開所
6/15	精華町文化フェスティバル	(2 名)	
7/12	ひかり台保育所夏まつり	9 名 (2 名)	
7/29	精華町夏季地域学校		注文
8/23	精華台 1 丁目なつまつり	8 名 (3 名)	
8/23	光台なつまつり		注文
9/26	京都廣学館高校文化祭	5 名 (2 名)	
9/29	ふれあいのつどい	(2 名)	注文
10/5	社会福祉大会	(2 名)	
10/18	精華町こどもまつり	3 名 (2 名)	

1 0/2 6	精華町障害児者ふれあいのつどい	(2名)	
1 1/1 6	精華まつり	9名(3名)	臨時開所
1 2/6	精華町文化フェスティバル	(2名)	
1 2/1 3	京都地域福祉活動実践交流会	(2名)	
1/1 3	シルバー人材センター 新年会	3名(1名)	
2/3	南陽高校文化祭		注文
2/8	相楽の文化を創るつどい	8名(4名)	臨時開所
3/1	精華町スポーツサンデー	(2名)	

・その他

縫製作業、絵画(週1回、作業所・デイセンターのプログラムに参加)、ウォーキング、パソコン、入浴など。健康診断、歯科検診。

②ボランティア活動

日程	ボランティアグループ	参加者数(スタッフ数)
毎月1回第3水曜日	収集ボランティアさくらの会	1名(1名)
毎月1回第3木曜日	古布裁断ボランティアこっちゃん	2名(1名)

③行事等

日程	行事名・内容	利用者数(スタッフ数)	備考
4/7	けいはんな記念公園花見	9名(3名)	
5/2 5	ふれあいまつり	9名(4名)	
7/2 2	日本舞踊鑑賞	10名(1名)	
8/5	映画鑑賞	9名	
9/4, 5	利用者検診	8名	
9/6	避難訓練(祝園事務所)	9名(3名)	
1 0/2 6	精華町障害児者ふれあいのつどい	5名(1名)	
1 1/7 ~ 8	伊勢・鳥羽方面旅行	10名(3名)	
1 1/2 0	インフルエンザ予防接種	6名(3名)	
1 1/2 1	避難訓練(喫茶)	9名(4名)	
1/7	新年会	9名(4名)	

3/12	避難訓練（喫茶）	7名（2名）	
/	避難訓練（祝園事務所）	2名（1名）	

3) 研修・出張

日程	研修名・出張内容	会場	参加
4/23ほか	精華町ボランティア運営委員会	かしのき苑	1名
5/19, 20	有償運送運転協力者講習	関西 STS 連絡会	1名
6/11	障害福祉サービス事業者集団指導	文化パーク城陽	1名
7/10	食品衛生責任者講習	京都東急ホテル	1名
8/8	食品衛生責任者実務講習	相楽会館	1名
9/9	法人内部研修	相楽作業所	1名
11/14	法人内部研修	相楽デイセンター	2名

4) 所内事故・苦情

内容		件数
怪我	転倒による打撲（施設管理外）	2件
救急搬送	意識喪失による	1件

5) その他

日程	内容
6/17	祝園事務所 消防署立ち入り検査
7/5	喫茶 害虫駆除薬散布
7/10	台風接近に伴い販売中止（精華町役場、すてっぷ）
8/9	警報発令のため11時より臨時休所。各自宅まで個別送迎で対応する。
8月～9月	利用者1名入院
9月	公用車車検
12月～	利用者1名入院

クリエイティブスペースていすと 平成26年度事業報告（案）

これまでどおり革作業と下請け作業を仕事の柱とし、より作業に重点をおいた事業所作りを行った。具体的には作業時間の延長、作業場の環境整備、工程のマニュアル化を進めた。また個々の利用者に合わせた作業設定を行い、各々が得意な仕事を見つけ出し、以前より自信を持って仕事に向かう様子が見られた。地域の方にも協力してもらい革製品を委託販売して貰える店舗も8店舗に広がった。また下請け作業の方も一年を通じて安定して仕事が提供できるようになった。

一方利用者・ご家族ともに高齢化が進み、体調を崩し入院されたり亡くなられたご家族もあった。ご家庭での問題によりこれまでどおり自宅での生活が難しくなってきた方もおられた。今後は作業を中心しつつも、高齢化や障害の重度化が進む方をいかにケアしていくかが課題となってくる。

〈計画に即した評価〉

1. 支援の質の向上

- ・個別支援計画の定期的な見直しを行い、より充実した支援を行う。
- ・利用者一人ひとりのニーズに基づいた個別プログラムを段階的に取り入れる。
- ・利用者に係る情報の共有と支援内容の検討を行い、支援の経過や課題等を明確にする。

5月に個別支援計画を作成、10月に見直しを行った。また毎日の反省会の中で、利用者一人ひとりの支援内容の見直し、活動の設定方法、情報共有、利用者との関わり方等を話し合った。日々の反省会とは別に ていすと会議では事業所方針の確認や人権について話し合った。

2. 作業活動の充実

- ・質の高い革製品づくりを行い、販路を広げる。
- ・下請け作業に継続して取り組む。

日々革作業に関わる中で利用者、職員共に技術も上達し少しずつではあるが製品の質が上がり、それに伴い委託販売して貰える店舗も6店舗から8店舗に増えた。カタログや店舗カードも制作し、作業を通じてより地域の方と接する機会が増えた。下請け作業も一年をとおして安定して作業提供ができ、納品スピードも上がってきた。利用者の方も周囲から評価を受ける事で、仕事に対して意欲的な姿勢が見られるようになった。

3. その他（地域、外部との交流）

- ・地域社会との交流を通じて、利用者の社会参加を企画実践する。
- ・地域からのボランティア、介護体験実習生を積極的に受け入れる。
- ・利用者の安全安心、基本的人権を守る為、積極的に研修等に参加し支援の質を高めるよう努力する。

春～夏にかけて地域のボランティアの方を1名受け入れた。革製品の販売を通じて、地域との交流も生まれつつあるがまだ利用者との直接のやりとりは少なく、今後は利用者主体の中で地域交流を実践していきたい。

外部の研修、見学については多くは実行できなかったが、見学先を通じて新たに革製品の販売先が見つかるなど収穫もあった。

〈資料〉

1 利用者の状況

男性 5名 女性 4名 合計 9名（職員3名）
平均障害程度区分 4.5
平均年齢 47.3歳

2月より新しい利用者（男性）が加わる。

2 日中活動内容

(1) 革作業

革小物（キーケース、ポーチなど）を製作。
木津川市、奈良市の委託店舗で販売。

(2) パン 委託販売

第1水曜日午後 南山城支援学校でデイセンターのパンを販売
第4金曜日午後 木津川市役所でデイセンターのパンを販売

(3) 委託販売先（浄瑠璃寺）訪問

不定期ではあったが、製品の在庫確認・整理を行った。

(4) はがき作り

牛乳パックの再利用により、手漉きはがきを製作し、委託販売先に置いてもらう。法人内の値札作りを担当した。

(5) 下請け作業

「金具（ウレタンシール貼り）」「紙管（筒入れ）」「からみ（輪っか）」の各種作業を実施した。

(6) その他

カラオケ（2ヶ月に1回）、調理（昼食・お菓子：不定期）、絵画（作業所プログラム毎週）、木津育栄会とお菓子づくり（年2回）、体重測定（月1回）、入浴支援（一部利用者に週1回） 畑作業

3 行事関係

4月11日	花見	平城京跡地
7月11日	ボーリング外出	城陽ボール
8月29日	育栄会お菓子作り	保健センター
9月16日	避難訓練	所内
10月9日～10日	一泊旅行	志摩スペイン村
11月7日	外出	くろんど池
1月9日	新年会（カラオケ）	京田辺コーラスライン
1月28日	育栄会お菓子作り	保健センター
3月9日	避難訓練	所内
3月20日	お疲れ様会（カラオケ）	京田辺コーラスライン

一年前より積立をし11月に一泊旅行を実施。数年ぶりの泊りの旅行とあって、日常とは違った様子が見られた。また旅行に行く事を目標に、作業を頑張るといった良い循環が見られた。

4 事故、苦情

内容	
苦情	1件

家庭での生活リズムが乱れてきたと苦情があった。生活リズムの改善を図る為、長期のショートステイの提案、他施設の事業を紹介するがサービスを利用するには至らず未解決。

5 その他

・ 会議、研修等

	内容
6月6日	人権研修
6月11日	京都府集団指導
9月5日	自閉症研修
9月22日	エクスクラメーションファクトリー見学
11月14日	身体介助研修
2月24日	京知福協 報告会

上記の他に毎月ペースでていすと会議を実施。主に事業所の方針や作業の課題、利用者支援、人権について話し合う機会を設けた。

・ 避難（防災）訓練2回実施

利用者健診（内科）1回実施・（歯科検診）1回実施

エコ・クリーン相楽
平成26年度事業報告（案）

作業については計画的に作業設定を行い実施した。生活介護事業における新利用者が1名増員されたことで、より効率よく作業を行うことができた。利用者間での関係も良好で毎日継続して出勤して頂いている。利用者の高齢化、体力低下に配慮した作業環境については検討の機会は十分に持てず具体化することはできなかった。実際に作業中、体調不良の訴えがあったというケースもあり必要性を感じるが、利用者の作業に対する意欲とどうバランスを取っていくかが今後の課題である。

利用者が事業所内の作業面、生活面で普段感じていてもなかなか言えない思いの聞き取りを行った。個別で面談を行い、それを題材にテーマを決め利用者主体の話し合いの機会を設けた。好評であったので新年度も継続して取り組んでいきたいと考えている。新年度についても利用者を1名増員の予定であり、引き続き工賃アップに向けての取り組み、安全な作業環境の確保、利用者の人権が守られた支援を行ってきたい。

<計画に即した評価>

1. 日中活動

- ・円滑に作業が行えるよう、日中プログラムを計画的に設定し実施する。
- ・作業について内容や設定、また新たな作業開拓も含め必要に応じて見直しを行い、利用者一人ひとりの経験や体力等も考慮した作業環境の提供に努める。
- ・行事や休日レクリエーションについては、利用者とともに計画し実施する。

市町村からの業務委託作業について契約内容通り履行することができたが、夏季の除草作業において、主力の利用者が欠勤することが多かった事や天候の影響等で遅延気味になってしまった。

新規作業として市から新たに1箇所の公園清掃の委託があり、11月から作業を行った。また単発での作業依頼が2件あり対応した。

昨年度より進めていた堆肥作りは失敗に終わってしまい、改めて作成方法変更し再挑戦を行う。

行事やレクリエーションの企画は日中活動の時間内で機会を設け話し合いを行い実施した。

利用者の日々の体調に合わせて、作業内容の配慮を行った。

2. 支援の質の向上

- ・利用者のニーズに基づいた個別支援計画を作成し、中間評価を行いながら支援する。
- ・ケース記録の充実を図る。
- ・会議等で日々の利用者の情報を職員間で共有し支援方法を検討する。必要に応じて

専門機関との連携を図る。

- ・研修会への参加や勉強会の実施など職員の資質向上に努める。

利用者からの聞き取りに基づき個別支援計画を作成し、会議の場で検討を行った。
また中間時期には評価を行った。

宿泊等で職員が全員揃わない時もあったが、毎日の反省会でケース検討を行い、必要時には他事業所も交えて助言をもらい検討を行った。

外部研修の参加、勉強会の実施については十分に行うことができなかった。

3. 事業所機能の充実

- ・安心・安全な環境の確保に努め、職員の安全管理に関する意識を高めるとともに、施設内外の安全について常時点検や改善を行っていく。
- ・快適で機能的な事務所や作業環境となるよう施設整備や雰囲気作りに努める。
- ・将来の利用者像を見据え、今後の事業所のあり方を検討する。
- ・避難訓練を計画実施する。
- ・法人内各事業所と連携した施設運営を行なう。

日々の作業において安全には留意し作業を行ったが、作業中の事故(ガラス破損)、車両事故(駐車中の車両との接触)がそれぞれ1件あった。再度安全第一の徹底を確認した。

契約外で実施していた作業で、冬季に行っていた土上げ(公園内グラウンド周りの溝にたまった土を取り除く作業)について、作業中に害虫(セアカゴケグモ)の発生が見られたため作業を中止し、当面その作業は行わないこととした。

機器のメンテナンス、補修、修理依頼など、作業に支障がないよう適宜実施した。

避難訓練について、火災報知器の修理もあり年間を通じてバランスよく実施することができなかった。(1/30、2/27に実施)

今後の事業所のあり方について、職員間で話し合いの機会を数回設けた。今後も並行して議論する機会を設け、事業所の方向性、本人支援の在り方について検討していく。

<資料>

1. 利用者の状況(定員 生活介護 10名 就労継続支援 B型 10名)

(1)利用者数 生活介護 8名(男性 8名) ※平均障害程度区分: 3.8
就労継続支援 B型 1名(男性 1名)

(2)平均年齢 46.5歳

2. 活動内容

(1)作業

- ・精華町(建設課) 山田川駅前交通広場等維持管理業務委託

場 所	内 容
山田川駅前交通広場	ごみ袋入替 ごみ処理 除草 散水 等
祝園駅西側公衆便所	トイレ清掃
鳥谷公園	トイレ清掃 ごみ拾い 散水 等
池谷公園	トイレ清掃 ごみ拾い 散水 等
畑の前公園遺跡の杜	トイレ清掃 ごみ拾い 散水 等

- ・精華町(建築課) 池谷公園他除草業務委託

場 所	内 容
鳥谷公園	除草 塵埃収集 処分 等
池谷公園	除草 塵埃収集 処分 等

- ・精華町(体育協会) 維持管理業務

場 所	内 容
打越台グラウンド	トイレ清掃 ごみ拾い グラウンド管理棟清掃 グラウンドベンチ清掃 等

- ・木津川市(教育委員会) 社会体育施設清掃等委託業務

場 所	内 容
兜谷グラウンド周辺	トイレ清掃 ごみ拾い 除草 剪定 整地 等
木津グラウンド周辺	トイレ清掃 ごみ拾い 除草 整地 等
木津川台グラウンド	ごみ拾い 除草 剪定 整地 等
梅美台テニスコート	トイレ清掃 ごみ拾い 除草 等
赤田川グラウンド	トイレ清掃 ごみ拾い 除草 剪定 整地 等
加茂体育館	トイレ清掃 除草 等
加茂グラウンド	トイレ清掃 ごみ拾い 等
山城コミュニティ運動広場	トイレ清掃 ごみ拾い 等
木津川市中央体育館	除草
城址公園(11月より)	(社会体育係業務委託) トイレ清掃 ごみ拾い 等
	(文化財保護室業務委託) トイレ清掃 ごみ拾い 等

- ・精華町(体育協会) 維持管理業務

- ・ 相楽福祉会 ゴミ回収 除草 等
- ・ 精華町障害児者育成会 古紙回収
- ・ リサイクル業務(空き缶 廃油石けん作り)
- ・ 太陽食品 ハトムギ畑除草作業(7/14～8/7)
- ・ ヒュッテ利用者宅庭除草作業(3/26～30)
- ・ 堆肥作り
- ・ ふれあいまつり(5/25) 廃油石鹸販売 (利用者1名)

(2)休日レクリエーション

日 程	内 容	参加利用者数 ※()内はスタッフ	備 考
5/18(日)	ひらかたパーク	7名(3名)	
6/29(日)	京都水族館	8名(3名)	
7/27(日)	神戸市王子動物園	7名(2名)	
9/28(日)	スポーツ	7名(2名)	むくのきセンター
10/19(日)	サッカー観戦	7名(2名)	西京極競技場
12/28(日)	もちつき	8名(2名)	相楽作業所
2/7(土)	ボウリング	8名(3名)	新田辺
3/22(日)	陶芸体験	8名(2名)	相楽作業所

(3)行事・利用者研修等

日 程	内 容	参加利用者数 ※()内はス タッフ数	備 考
4/7(月)	花見	9名(3名)	けいはんな記念公園
6/3(火)	障害者虐待防止法勉強会	6名(2名)	精華町役場
10/26(日)	精華町障害児者ふれあいのつ どい	3名	むくのきセンター
10/30(木)	お金の使い方講座	4名(1名)	東部交流会館
11/20(木)～ 22(土)	横浜・鎌倉旅行	8名(3名)	
12/4(木)	「障がい者が働く場の見学 会」参加	4名(1名)	オムロン京都太陽 (株)見学
12/28(日)	相楽作業所 もちつき	8名(2名)	
1/16(金)	新年会	9名(3名)	鍋

- ・ 精華町 (体育協会) 維持管理業務

3. 職員研修・出張

日 程	内 容	会 場	参加
4/24	山城南圏域自立支援協議会就労支援グループ 会議	しょうがい者就業・生活 支援センター「あん」	1名
6/6	法人研修「虐待について」	相楽デイセンター	3名
6/11	集団指導	文化パーク城陽	1名
7/4	山城南圏域自立支援協議会就労支援グループ 会議	しょうがい者就業・生活 支援センター「あん」	1名
8/1	山城南圏域自立支援協議会就労支援部会	山城南保健所	1名
8/28, 9/1, 2	相談支援従事者初任者研修	京都テルサ	1名
2/24	京都知的障害者福祉施設協議会 緊急会議	京都社会福祉会館	1名

4. 所内事故・苦情

内 容		件数
事故等	車輛事故	1
	服薬ミス	0
	怪我	0
	器物破損	1

5. その他

日 程	内 容	備 考
5/20～7/18	火災通報装置 電話回線工事	ベルテック
9/3,4	利用者・職員健診	利用者4名 職員2名
10/～	外注弁当を変更(株エッセン)	
11/11	インフルエンザ予防接種	利用者5名 職員3名
11/18	歯科検診	利用者8名
1/30	避難訓練	
1/30	相楽職員交流会	職員3名
2/10	歯科指導	利用者8名
2/12,13	利用者実習受け入れ	1名
2/27	防災訓練(施設見学)	奈良市防災センター

サービスセンター相楽
平成26年度事業報告（案）

今年度は人権に配慮した支援ができているか、支援の内容が成人に合ったものかを職員会議で毎回確認し、自己チェック表を使って意識的に振り返りも行った。また、アテンダントミーティングを開催し、日々の支援内容についての確認や振り返りを行った。

サービス提供については、今年度も家族の事情により緊急かつ長期の短期入所・一時支援の利用があり他事業所の協力を得て対応を行った。当法人のみではスタッフ配置に限界があったため、他法人の利用を含めた調整を行った。他のサービスについてもスタッフ配置を効率的に行いできる限りのニーズに対応したが、全てには応えきれず他法人を含めた調整の必要性を強く感じた。また外部利用者へのホームヘルプについてはヘルパーの確保が難しく、サービス提供の見直しを行った。

施設修繕については、補助金を利用して小浴室に手すりを設置しより安全に入浴できるよう改善した。少しずつ老朽化が進んでいるため、危険個所への対応と計画的に修繕を行っていく必要がある。

<計画に即した評価>

1. 各種サービス

- ・個々の利用者にあったサービス内容を検討、見直しをしていく。
- ・スタッフ確保に努め少しでも多くのニーズに対応できるよう努力する。

サービス内容については、フェイスシートを更新し家族とも相談しながら検討することができた。

短期入所、一時支援については、緊急以外の利用希望が増えており、スタッフ調整ができずに断らざる得ないケースもあった。今後も利用希望が増えると思われるが対応には限界があり、他法人の利用を含めてニーズに合った支援ができるよう調整が必要になってくる。また、相楽作業所、相楽デイセンターの各施設長を交えて毎月行っているサービス調整会議を今後も継続し、緊急性の高いケースの把握や効率的なスタッフの調整が重要である。

2. 支援の質の向上

- ・スタッフ間の情報の共有を確実にし、個々の利用者に応じた支援を行う。

各通所事業所と連携して情報を共有し、業務日誌等を使い服薬、安全の確保ができるよう配置スタッフへの引継ぎを行った。

- ・法人内部および外部研修に参加し、支援の向上に努める。

今年度は外部研修に参加する機会を設けることが難しかったが、今後は

研修への参加を積極的に行い、報告や話し合う場を設けることで支援の質を上げることが重要である。

・アテンダントの支援の質的向上を目指す。

日々の支援の中で気付いたことはその都度話し合い改善を行った。また、アテンダントミーティングを開催することで、支援内容の振り返りと共通理解を深めることができた。

3. 事業所機能の充実

・関係機関、他事業所との連絡を密に行い情報の共有と連携をはかる。

必要に応じて関係機関、他事業所との連携をはかることができた。

・年2回の防災訓練を計画的に実施する。
・感染症予防に努める。

防災訓練は年に2回実施し、その内1回は相楽デイセンターと合同で行った。感染症については消毒等を徹底して行うことで蔓延を防ぐことができた。

<資料>

1 利用者の状況（登録利用者数）

◎相楽福祉会通所利用者 102名
◎上記以外 14名

3 事業内容

- ① 居宅介護（身体介護・家事援助・通院等介助）
- ② 行動援護
- ③ 短期入所
- ④ 一時支援事業
- ⑤ 移動支援事業
- ⑥ 移送サービス

《参考》 平成27年2月サービス提供概数

サービス内容	件数
居宅介護（身体介護・家事援助）	9
通院等介助	89
短期入所	73
ガイドヘルプ（行動援護・移動支援事業）	90
一時支援事業	191
入浴	43
移送サービス	223

※短期入所…1泊2日を2件とカウント

※ガイドヘルプ…内63件はグループホーム利用者

4 研修・出張

日程	研修名・内容	会場	参加
6/6	中堅職員研修 虐待について	相楽データセンター	1名
6/11	障害福祉サービス事業者等に係る 集団指導	文化パルク城陽	1名
8/18 8/28	介護職員等による喀痰吸引等研修	京都 社会福祉会館	1名
3/6	自立支援協議会	相楽データセンター	1名

5 事故・苦情

スタッフ全員の安全意識の向上を図っていく。

内 容		件 数
事故	服薬ミス	1
	車輛事故	0
	感染症（インフルエンザ職員2名）	2

グループホームサポートセンター「樹葉」
平成26年度事業報告（案）

障害福祉サービス制度において、グループホームとケアホームの一元化がされ「ケアホーム相朋舎」から「グループホーム相朋舎」と名称変更した。4月に男性グループホーム住居（ほうその相朋舎）を建設整備し、3か所の借家住居を統合した形で5月より運営を始め、その結果、運営住居は4か所となった。夜間支援体制においては、男性は若干改善できたものの女性は一人あたりにかかる負担が依然大きい。

現在、住居はほぼ満室で新規入居者の受け入れが現状では困難。地域で生活する利用者の家族が高齢化している状況でグループホームのサービスニーズは高いが、現制度下では新規開設するにも住居開設費用は捻出出来ずマンパワー確保のための財源も同様で、一例として当事業所の手厚い夜間支援体制が報酬上評価されない問題がある。この、住居建設の手立てと住居展開を広げるほど運営が困難になる問題点については、自治体・当事者・事業者等の協働による画期的な策がなければ解決は難しいと考える。

当年度重点事項の安心安全の確保について、服薬支援事故は8件あった。薬局や医療機関の処方調剤ミスがあったが、支援スタッフの気づきから未然に防止できたヒヤリハットがあった。服薬チェック表や薬ケースの改良、住居間での複数チェックを導入し事故防止をはかった。

グループホーム近隣から入居者の大声について苦情を受けた。借家での防音対策が困難であり、転居やサテライト制度の活用をはかったが物件確保にも諸規制が障壁となった。平成27年上半期より通常住居からサテライト住居に転居し1名が生活する予定である。今後の地域生活の新たな形として、展開を確実に進めたい。

<計画に即した評価>

1. 生活支援

- 一人ひとりのニーズに基づく入居者主体の支援計画をたて支援する。また必要に応じ見直しを行う。

個別支援計画に沿って支援を行なった。ケース記録の書式を改訂し、生活支援の質がより良く継続できるよう進めた。必要な情報を分かりやすく伝えることで、入居者の不安が軽減できたケースもあった。今後は生活歴をまとめ必要な医療面での留意点を明確にする課題がある。

- 生活習慣病や慢性疾患、メンタルケア等に留意し健康的な生活が送れるよう支援する。
- 入居者希望をとりいれ栄養バランスや盛り付けに配慮した食事を提供。

健診結果や定期受診の結果から必要な支援を行なった。入居者の処方内容をリアルタイムで一元的に把握し、服薬事故時にも迅速に対応でき

るようにした。食事は管理栄養士の献立に沿って提供し、宿泊スタッフから意見感想を聞いた。PT や ST、看護師等との連携により日常生活上のケアも実施した。一方、誤嚥性肺炎や環境の変化から精神的不安となり入院したケースがあった。予兆を見逃さない観察の重要性を痛感した。

- ・入居者の希望や意見、趣味や年齢などを考慮し余暇支援の充実をはかる。
- ・他法人事業所のサービスも活用しながらより良い暮らしを考える。

各住居単位でレクリエーションを実施したほか、個人単位でガイドヘルプサービスでの休日支援を行なった。他法人事業所のガイドヘルプサービスも活用し、調整を行なった。経済的事情等もありつつ、余暇活動が不十分と感じる入居者も居る。

- ・暮らしやすく住み心地の良い場になるよう、建物設備等の環境を整える。
- ・地域で居心地良く安心した生活を営めるよう、隣近所、地域の方々とのつながりを深める。

入居者の特性に応じた居室環境になるよう改善し、行動面での変化も見られた。当年開設のほうその相朋舎では自治会に加入し行事に参加した。はげ相朋舎、きたのどう相朋舎でも自治会活動に参加している。かみこま相朋舎は自治会加入していないが散歩挨拶から関係は広がっている。

2. 安心、安全の確保

- ・危険物、薬品、貴重品等を厳重に管理し、間違いの起こりにくい環境整備に努める。
- ・各ホームでの支援方法や構造等の危険個所を随時チェックし改善する。
- ・避難訓練等を行い火事や災害時の危機対応に備える。

危険物、貴重品等の管理は確実にできたものの、服薬支援事故が 8 件あり薬ケースの工夫や管理、服薬確認方法を改善した。また、加齢に伴う身体機能低下による屋内転倒事故があり住居内で手すりを設置した。入居者間でのトラブルに対しては居室の配置転換（引越）を行なったが根本的解決には至っていない。今後も服薬事故防止対策や設備改善を継続実施する必要がある。避難訓練は年 2 回実施した。

3. 支援の質の向上

- ・日中活動の場、世話人、生活支援員、夜間支援員それぞれの連携を密にし、職種に関わらず支援に携わる者全てがお互いの支援の在り方について指摘しあい、意見を交わすことによって入居者を尊重したよりよい支援を行う。
- ・研修会への参加など職員の人権意識、資質向上に努める。

事業所、世話人、住居ごとの会議を開催し世話人の視点で入居者支援についての新たな気づきや改善箇所もあった。人権尊重についてチェックリストを用いて個々の振り返りを行なった。支援上多くの配慮が必要な

入居者については関係する夜間支援員に各々のノウハウや考えをアンケートで情報収集したが、今後も支援の標準化やノウハウ共有し集約する必要がある。

・夜勤や変形労働時間を活用し、効率的な人員配置に努める。

当年度新規採用した非常勤夜間支援員の尽力があったものの、限られた人員体制のなか特に女性の宿泊スタッフの負担が依然大きい。男性は開設したほうその相朋舎により若干改善できた。宿泊スタッフのほか朝夕の繁忙時にはフォロー体制を敷いており、非常勤職員や変形労働時間を活用したものの他事業所への依存度も高い。引き続き人員確保に努めたい。

<資料>

1. 利用者・住居の状況（平成27年3月31日現在）

	かみこま 相朋舎	ほうその 相朋舎	はげ 相朋舎	きたのどう 相朋舎
所在地	木津川市	精華町	木津川市	精華町
開設年	2005年	2014年	2013年	1999年
入居者数	男3、女3	男9	女9	女2
平均年齢	50.1歳	51.8歳	50.6歳	31.0歳
障害支援区分 (平均)	5.5	4.7	4.6	5.5
夜間支援体制	男2、女1	男2	女1	女1

2. レクリエーション

かみこま相朋舎 : バーベキュー&木津川花火大会観賞 (7/26 土)
 ほうその相朋舎 : 木下大サーカス観賞 (3/21 土)
 はげ相朋舎 : 木下大サーカス観賞 (3/ 8 日)
 きたのどう相朋舎 : 木下大サーカス観賞 (3/ 8 日)

3. 研修

法人内研修および外部研修に参加した。法人内研修は業務上参加できない職員も多く、外部研修も相談支援従事者現任研修1名、福祉有償運送講習1名、京都知福協世話人研修2名、日本グループホーム学会京都大会プレ集会5名、にとどまった。次年度以降は事業所加算要件になっている各種研修に派遣できるよう勤務体制の一層の工夫が必要。

また、平成27年度開催予定の日本グループホーム学会京都大会(全国大会)の実行委員に主任1名が参加し、毎月の実行委員会で開催に向けての協議しつつ他法人の取り組みについて情報を得ている。現場にフィードバックし資

質向上をはかりたい。

4. 事故・苦情

服薬ミスは昨年・一昨年と比すると減少するが、服薬忘れが5件あり内4件は常用薬であり、支援スタッフにチェック表の徹底を依頼した。転倒はいずれも屋内で発生、入居者間トラブルは金銭2件暴力1件。入居者からの苦情は職員対応、他入居者の生活音について、外部からの苦情は近隣より大声騒音等について3件と迷惑電話1件。対応したものの依然解決できていない事案もあり、環境整備を進め解決をはかる。

転倒	5件
入居者間トラブル	3件
器物破損（職員過失）	1件
服薬ミス	8件
苦情（入居者より）	2件
苦情（外部より）	4件